

みくびだより



御挨拶

拝啓 寒冷の候、皆様方におかれましては愈々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

秋篠宮家の悠仁親王殿下におかれましては、去る九月六日満十九歳の御誕生日をお迎えになり、一般の成人式にあたる「成年式」が皇居内の宮殿で厳粛に執り行われました。殿下には今後、成年皇族として学業とともに宮中祭祀への御参列や地方へのお出ましなど公的な活動に臨まれる事になります。国民の一人として、お祝い申し上げますと共に更なる御活躍をお祈り申し上げます。

神宮では第六十三回神宮式年遷宮の諸祭の一つである御船代祭が斎行されました。御船代祭は御神体を納める「御桶代」をさらに納めるための御器「御船代」の御用材を伐採するに当たり無事奉製されることを祈念する祭儀です。今年の遷宮諸祭・諸行事は今回の御船代祭が最後となり、前例に倣えば来年は四月に御木曳初式や木造始祭がおこなわれ、徐々に盛り上がってゆく遷宮への気運が感じられる年を迎える事となります。

さて、前号の挨拶文でお願い致しました「まつり提灯」新調に伴う奉賛に於きましては、遠近より数多くの方々から多大なる御賛同を頂き篤く御礼申し上げます。当初予定しておりました損傷状況が著しく酷い提灯のみを新調する目算を上回る御協賛を賜り、新調する屋形および拝殿前の祭禮提灯の追加注文を検討している状況です。尚、本年内は御奉賛を賜りたく存じますので、何卒御協力の程お願い申し上げます。

現在、当社では迎春にあたり、職員一同正月準備を進めております。皆様方には、御首の大神様の御神徳を漏れなく拝受されまして、清々しい新年を迎えられます様お祈り申し上げ御挨拶とさせていただきます。

祭事報告

▼西宮神社例祭

七月十七日

本殿西側の相殿社であり、商売繁盛や事業繁栄などの御神徳で知られる蛭子命をお祀りしております西宮神社の例祭を、お仕え致しました。

▼末廣稻荷神社例祭

八月三日



五穀豊穰・商売繁盛の神、京都の伏見稻荷大社より御分霊を賜り当社境内東側に御鎮座されております、末廣稻荷神社の例祭を滞りなく斎行致しました。

本年も氏子地域の子供たちによるイラスト行灯が奉納され、

稻荷神社参道に掲げられました。

▼夏越大祓

八月三日

この半年間、知らず知らず受け犯した罪穢れを人形（ひとがた）に託して忌火にて焚き上げ、祓い清める神事、夏越大祓を執り行いました。神事終了後には茅の輪くぐりが行なわれ、ご参列の皆さまは、茅の輪をくぐって、心身共に清め厄災を祓い除け、残り半年間の無病息災を願われておりました。



▼神明神社例祭

十月十七日

神明神社は、天照大御神をお祀りし、本殿西側の境内社として御鎮座されております。本年も、伊勢神宮（内宮）の神嘗祭が行われる日に合わせ、例祭を滞りなくお仕え致しました。

▼崇敬会大祭

十一月三日

当日は、まさに秋晴れの清々しい一日となりました。崇敬会会員の皆様にご参列賜り、崇敬会よりご奉納賜りました真新しい几帳（写真は三ページ参照）と共に、肅々と大祭をお仕え申し上げました。

コロナ禍以降、参列者が減少しておりましたが、本年は昨年よりも僅かでは有りますが、多くのご参列が見られました。少しずつ以前の賑わいを取り戻しつつあるのではと、感じさせてくれます。来年・再来年とさら

に多くの会員の方にご参列頂けます事を、期待しております。

▼新嘗祭

十一月二十三日



春の祈年祭で豊作を祈り、その收穫に感謝し、新穀を神様に召し上がって頂く新嘗祭は、三大祭と呼ばれる重要な神事の一つです。

当社でも、境内に作られた御神饌田で收穫した初穂を神さまに御供えし、豊穰への感謝と皇室の安寧及び国家の安泰を祈願申し上げました。

尚、この初穂は、後に一粒ずつ取り分けまして、ご祈祷の下がりとしてお頒ち致しております。

祭事報告

▼七五三参り

十一月中



七五三参りは、平安時代より行われてきた儀式と言われ、三歳では男女が髪を伸ばし始める「髪置きの儀」・五歳では男児が袴を履き始める「袴着の儀」七歳では女兒が大人の帯を締め始める「帯解きの儀」に由来しますが、近年では男女問わず、それぞれが三歳・五歳・七歳でお参りされるケースが増えております。

十月に入ると七五三参りのご家族の姿をチラホラとお見かけするようになり、十一月の土・日・祝日などには、多くの七五三参りのご家族で賑わいました。特に、本年は十五日が土曜日でしたので、十一月十五日にはそれこそ多くの七五三参りのご家族がお見えになりました。

諸祭典(抜粋)

▼長寿祈願祭 九月十五日

▼月次祭 毎月一日・二十日

右、滞りなく斎行致しました。

ご奉納頂きました



▽海津市の中村とみ子様より賜りましたご寄付にて、手水舎の柄杓を新調させて頂きました。

来年のお正月より、新しい柄杓を設置いたしますので、初詣の際は、新しい柄杓にて手水を行なわれ、心身ともに清らかにご参拝下さい。

▽三重県いなべ市の安藤信幸様より、二台の案をご奉納頂きました。

この案は、来年のお正月より使わせて頂きます。



この場をお借りいたしましたして、篤く御礼申し上げます。

▽崇敬会より、以下ご奉納頂きました。

一、几帳一対



一、鳥居前大幟一対



一、末廣稻荷神社幟二対



以上、ご奉納ありがとうございます。

『正月の準備』

お正月、玄関に門松を立てて注連飾りを飾り、神棚に鏡餅をお供えする、そのような光景は皆様の中にも「お正月の光景」として認識されており、実際にお正月にそのような準備をされる方もお見えかと思えます。

門松や鏡餅など、本来正月に準備されるべき意味が有るのですが、最近ではその意味よりも正月の雰囲気作りとして飾られているご家庭も、もしかしたら少なくないのではと感じます。

元旦の「元」は「はじめ」の意味を持ち「旦」は「朝」「日の出」と言った意味が有ります。元旦はもともと、一年の始まりとして年神さまをお迎えし、旧年の豊作と平穏に感謝し、今年の豊穰と平和を祈念する日であります。現在では、それに加えて家内安全や家族の健康・幸運などが願われているかと思えます。そして、玄関に飾る注連飾りは年神さまをお迎えするにあたり、家に籠もる不浄を清める為に飾ります。

り、家に籠もる不浄を清める為に飾ります。

門松は、年神さまの依代としての意味で家々の門に立てられてきました。元々は緑の常緑樹を立てる風習から来ているとされ、松に限らず常緑樹を立てる場合も有るそうです。依代と書きましたが、この門松を通じて年神さまが家にお越しになると言った要素が強いかと思えます。また、門松を飾っている間を、年神さまが家にお鎮まりになっている期間として「松の内」と呼びます。（松の内は地域により期間が異なります）

次に鏡餅ですが、これは年神さまへの御供え物とも言われておりますが、こちらも年神さまの依代として飾られてきました。松の内まで年神さまが宿っていた鏡餅はお下げしても直ぐには食わず、鏡開きの時に割って皆で戴きます。鏡開きでは、切るという言葉が切腹を連想する為に包丁などを使わず手や金槌などで割ります。更に「割る」を

「開く」と表現するあたり、日本人・日本語の粋を感じますね。余談ですが「お年玉」はその昔、鏡開きで取り分けた餅を、年神さまの魂「お年魂」として子供などに配っていた事が起源とも言われております。

これまで、皆様が準備されてきた門松や注連飾り・鏡餅が、単にお正月らしさの演出であつたとしても、それは知らず知らずに年神さまをお迎えし、祈りを捧げていた事になります。これからはその意味と共に年神さまをお迎えし、元旦の祈りを捧げ、より一層の御神徳を戴かれてはいかがでしょうか。



崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上の諸病を憂うる者此の社に願えば靈驗あらたか：：」と伝わりし御首神社の御神徳に感謝し、ご家族の諸病平癒・無病息災・家内安全生業繁栄並びに子孫繁栄を願う崇敬者の会として設立されました。

入会を望まれます方は、社務所までご一報下さい。早々に案内資料をご用意させて頂戴きます。

会員の特典（抜粋）

- ・入会報告祭の実施
- ・誕生特別祈禱の実施及び祈禱神符の授与
- ・主要祭典のご案内
- ・昇殿参拝

会員の種類と年会費

個人	三千円
家族	五千円
特別	一万円
法人	二万円
名誉	三万円

（お問い合わせ先）

神社社務所まで
〇五八四一九一―三七〇〇

祭事案内

▼年越大祓

十二月三十日



神職全員が拝殿にて大祓詞を奏上した後、皆様が罪穢れを託されました人形（ひとがた）を忌火にてお焚き上げ致します。人形と申し込み封筒（右の写真）は社頭にご用意しておりますので、必要事項をご記入の上、申し込み封筒にお志と共に納め、社務所にお申し込み下さい。ご不明な点は社務所にてお尋ね下さい。

▼左義長

一月十五日

一年間ご守護戴きましたご神札や御守り又神棚の注連縄やお正月の注連飾りを忌み火にて焚き上げます。

但し、注連縄・注連飾りのお持込みは、当日の午前中に限り受け付け致しますので、事前のお持込や、焚き上げ終了後のお持込はお断りさせて頂きます。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

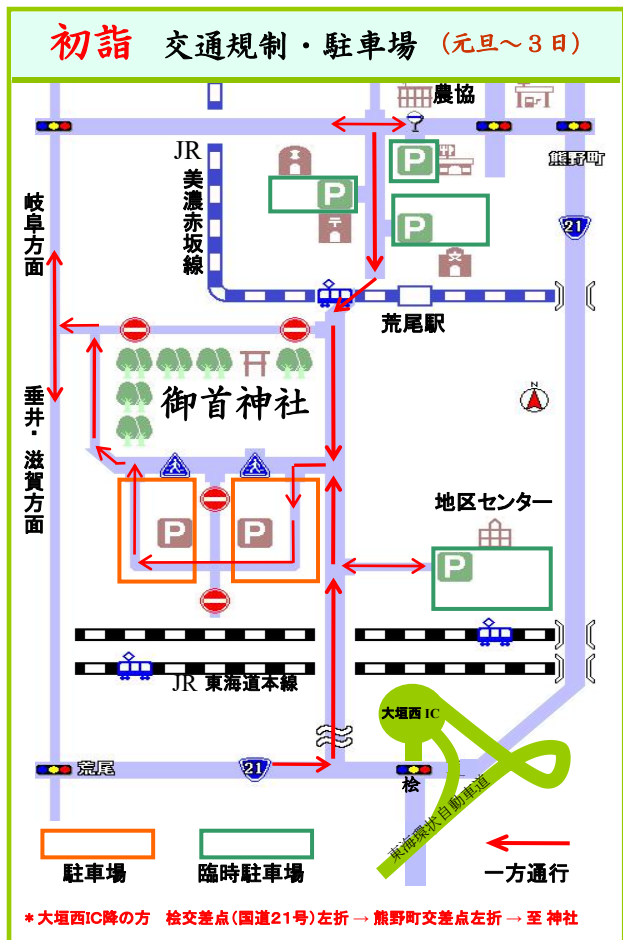
▼浄火祭

二月三日

境内に作られた大きな火炉前にて斎行致します。

皆様が祈願奉納されました金幣串や絵馬・帽子などをお焚き上げし、心願成就・厄祓いを願います。

尚、神事終了後にご持参の帽子の焚き上げが可能となりますので、帽子をお持ちになりご参拝下さい。（焚き上げは午前中で終了します）



八方ふさがりの皆さん

令和8年 八方ふさがり早見表		
方図	昭和	11年生
		20年生
方図	平成	29年生
		38年生
方図	令和	47年生
		56年生
方図	令和	2年生
		11年生
方図	令和	20年生
		29年生

ご祈禱をお受けになり
健康な毎日を
過ごしましょう

令和8年 年祝い早見表(数え歳)		
古稀	70歳	昭和 32年生
喜寿	77歳	昭和 25年生
傘寿	80歳	昭和 22年生
米寿	88歳	昭和 14年生
卒寿	90歳	昭和 12年生
白寿	99歳	昭和 3年生

年祝いの皆さん

新年 授与品・縁起物

祭事案内

諸祭典(抜粋)

▼	月次祭	毎月一日・二十日
▼	元旦祭	一月一日
▼	祈年祭	二月十五日
▼	鍬山神社例祭	三月十七日
▼	例大祭	四月二日
▼	南宮神社例祭	五月四日
▼	お田植え祭	六月上旬
▼	農休祭	六月中旬

特大開運御守

初穂料三〇〇〇円



大きき凡そ
25 センチ!

正月限定・三十体限定の御守です。

開運親子土鈴

初穂料一五〇〇円



さくら鈴

初穂料五〇〇円



祈願絵馬

初穂料五〇〇円



令和八年

初祈祷のご案内



初祈祷は、元旦祭
終了後(元旦午前零
時半頃)よりお仕え
致しております。

毎年、多数の皆様が我先にと御
祈祷(家内安全・商売繁盛・各種
受験合格・病氣平癒祈願など)を
お受けになられております。
輝かしい年の初めに、ご家族お
揃いでお参り下さい。

正月御供 鏡餅料 受付中です

正月御供(一月初旬迄 受付)

- ・ 御供料
- ・ 酒類・お餅・米・野菜・果物
- ・ 菓子など

鏡餅料(十二月末迄 受付)



・ 正月三日間、鏡餅を御神前に
お供えいたしま
す。千円以上
のお申込となつて
おります。

*お下がりが授与されます。
*郵送・書留等による申込受付中。
詳細は社務所まで。

令和8年 厄年表 (数え歳)

	歳	前厄	本厄	後厄
男	61歳	昭和42年生	昭和41年生	昭和40年生
	42歳	昭和61年生	昭和60年生	昭和59年生
	25歳	平成15年生	平成14年生	平成13年生
女	37歳	平成3年生	平成2年生	平成元年
	33歳	平成7年生	平成6年生	平成5年生
	19歳	平成21年生	平成20年生	平成19年生

編集部より一言

本号では紙面の体裁上、神職への質問Q&Aを割愛させて頂きましたので、ご了承下さい。

御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町一三八三の一

Eメール syanusyo@mikubi.or.jp

TEL(〇五八四)九一三七〇〇